

第2学年 体育科学習指導案

対 象 2年2組 男17名, 女14名 計31名

指導者 菅原 彰人

1 単元名 F 表現リズム遊び イ リズム遊び

教材名 ダンスにもえろ

2 単元について

(1) 児童について

本単元にかかわる事前調査を行ったところ、次のような結果となった。

スキップができるか	できる	93.5%(29人)
	できない	6.5%(2人)
後ろスキップができるか	できる	48.3%(15人)
	できない	51.7%(16人)
音楽のリズムに合わせて踊ることは好きですか?	好き	38.7%(12人)
	どちらかといえば好き	32.2%(10人)
	どちらかといえば嫌い	19.3%(6人)
	嫌い	8.8%(3人)

通常のスキップはこれまでに経験した動きであるが、後ろスキップは経験したことのない動きであるため、できる児童が少ないと考えられる。音楽のリズムに合わせて踊ることが好きと回答した児童は約7割だった。一方でみんなの前で踊ることが恥ずかしいや、今までやったことがないから難しそうという理由で約3割の児童が苦手意識をもっていることが分かった。

本単元では、これまで経験したことのない動きをたくさん取り入れ運動感覚を豊かにさせていきたい。また、より多くの児童に音楽のリズムに合わせて踊ることが好きになってもらいたいこと、友達と協力して踊りきることで信頼関係を構築してほしいと考え、この単元を設定した。

(2) 教材について

表現リズム遊びは、身近な題材の特徴を捉えてそのものになりきって全身の動きで表現することや、軽快なリズムの音楽に乗って踊る楽しさに触れることのできる運動遊びである。軽快なリズムに乗って踊るとは、スキップをしながら弾んで踊ることや、へそ(体幹部)を中心にリズムに乗って踊ること、友達と調子を合わせて踊ることである。やや速いテンポのロックやサンバなどの軽快なリズムの音楽や、児童にとって身近で関心の高い音楽を取り上げ、それぞれ曲のリズムに乗って踊ることを楽しませたい。また、最後の決めポーズをグループで考えさせることで、リズム感だけでなく児童の豊かな発想や創造力を養うことにつながる。と考える。

(3) 指導について

本単元では、リズムジャンプを準備運動として取り入れ、「リズムの特徴をとらえる」下地を作るとともに多様な身体感覚を養うようにする。

単元のはじめでは、準備運動としてリズム遊びの基本となる動きをするなど、よりたくさんの動きができるようにする。また、1学年で学習した表現遊びにもふれるようにする。

単元の中盤では、テーマのリズムに合わせて友達と踊るようなグループ活動を展開させ、中学年で行われる、グループでテーマに合った踊りを練習し発表する活動につなげられるようにする。

単元の終わりでは、これまでの学習を生かし、リズムに合わせて友達と一緒に体を動かす楽しさを味合わせることでみんなが達成感を得られるようにする。

毎時間振り返りカードを記入させることで、児童が自らの学習を振り返り、次時への見通しをもつことができるようにする。

3 単元の目標

(1) 技能

全身で弾む動きを中心に軽快なリズムに乗って踊ることができる。

(2) 態度

リズム遊びに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりしようとする。

(3) 思考・判断

軽快なリズムに乗って踊る簡単な踊り方を工夫するとともに、よい動きを見つけたり、考えたりしたことを友達に伝えることができる。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	技能	態度	思考・判断
小1	表現遊び 新聞紙を使って動物になりきる。	いろいろな動物になりきって、特徴のある動きで即興的に踊ることができる。	動物の生活や行動を思い浮かべて、楽しく表現遊びをしようとしている。	友達と一緒に好きな動物を選んで、簡単なお話を作っている。
1	オリエンテーション ・リズム遊びの説明 ・準備運動のやり方	体全体を使って準備運動ができる。	リズム遊びの流れ、準備運動のやり方を聞いて動こうとしている。	
2	音楽に合わせて、動きカードを見ながら楽しく踊る。	音楽に合わせて走ったり、回ったり、スキップしたりして動くことができる。		自分で工夫した動きを見つけ、振り返りシートに記入している。
3	ロックのリズムに合わせて友達と一緒に全身で弾んで踊る。		ロックのリズムに乗って、友達と気持ちを合わせて、進んで踊ろうとしている。	友達のよい動きを見つけている。
4 【本時】	サンバのリズムに合わせて友達と一緒に全身で弾んで踊る。		サンバのリズムに乗って、友達と気持ちを合わせて、進んで踊ろうとしている。	友達やグループのよい動きを見つけて伝えている。
5	身近な曲のリズムに合わせて友達と一緒に全身で弾んで踊る。	全身で弾む動きを中心に、軽快なリズムに乗って踊ることができる。		友達のよい動きを見つけている。
6	これまで学習した曲で、友達と一緒に踊る。	今までの学習を生かし全身で踊ることができる。		自分で工夫した動きを見つけている。
中学年	表現 リズムダンス	表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができる。	互いのよさを認め合い助け合って練習や発表している。また、場の安全に気を付けて運動している。	自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫している。

5 本時の指導

(1) 目標

サンバのリズムに乗って踊り、動きのポイントについて考えたり、友達の良い動きを見つたりすることができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	サンバのリズムに乗って、友達と気持ちを合わせて、進んで踊ろうとしている。
思考・判断	友達やグループのよい動きを見つけて伝えている。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 12分	1 準備運動 (体ほぐしの運動と表現遊び) ① 体ジャンケン ② リズムジャンプ ③ タタロチカ ④ まねっこダンス 2 課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">サンバのリズムにのり、ともだちといっしょに楽しくおどろう。</div>	●全身を思い切り動かして行うよう児童への声掛けを積極的に行う。 ●前時の曲で踊りながらこれまで行った動きを想起させる。 ●移動や整列を素早く行うようにさせる。
展開 25分	3 課題の解決 (1) サンバのリズムを知る。 (2) 映像を見てサンバのイメージを広げる。 (3) サンバのリズムに乗って楽しく踊る。	●サンバの曲を聴かせ、座ったまま自由に体を動かすことで動きのイメージを膨らませる。 ●ロックのリズムとの違いを感じ取らせるようにする。 ●映像を用いることで、子どもたちがサンバの踊りをよりイメージしやすいようにさせる。(リズムに乗って体全体が小刻みに揺れていること) ●体のどの部分が特に動いているか板書をもとに気付かせる。(へそとお尻、腕) ●曲が流れている間、進んで踊っている児童を称賛し、様々な楽しい動きを全体に広める。 ●踊ることが難しい児童に対しては教師が横に立って一緒に踊る。 ●はじめは一人で踊るようにさせ、リズムに慣れてきたらグループで、動きをそろえる部分を工夫しながら踊るようにさせる。

	<p>4 グループで発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●1・2班, 3・4班, 5・6班, 7・8班の4グループに分かれて交流させる。 ●見るポイントを提示したうえで, 互いの発表を見合うようにさせる。 ◎サンバのリズムに乗って, 友達と気持ちを合わせて, 進んで踊ろうとしている。 (観察)
<p>終 末 8 分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>① 自分のがんばり, 工夫</p> <p>② 友達のよいところ (今日のきらり賞)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【振り返り 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したところは最後のポーズをそろえるところです。みんなで声をかけると上手くそろえることができました。 ・今日のきらり賞は〇〇さんです。体全体で踊っていてよかったです。 ・前の時間とリズムが違ったけど練習して合わせることができてよかったです。 ・次は最後のポーズだけでなく, 途中までの動きを自分たちで決めたいです。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のがんばりや工夫したことについて記述させることで, サンバのリズムに乗って踊る楽しさに気付かせたい。 ●友達のよい動きやグループのよいところを見つけ振り返りシートに記入させ, 発表させる。 <p>◎友達やグループのよい動きを見つけて伝えている。 (発表, 観察, ワークシート)</p> <p>●次時は身近な曲のリズムに合わせて友達と楽しく踊ることを伝え, 次時への意欲をもたせる。</p>
	<p>6 次時の確認</p>	